

計算書類に対する注記

平成 16 年度

1 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準および評価方法について

有価証券の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、移動平均法で行っている。

(2)固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。

(3)資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、有価証券、前払金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。

(4)棚卸の評価基準及び評価方法について

棚卸の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

(5)引当金の計上基準について

退職給与引当金 : 期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

2 基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産引当預金	200,000,000	0	0	200,000,000
合計(基本金)	200,000,000	0	0	200,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	108,756,403	129,279,915
未収金	75,240,016	69,509,520
前払金	1,100	112,500
仮払金 1 (各会計間資金貸出金)	2,279,779	45,087,309
仮払金 2	80,000	0
合計	186,357,298	243,989,244
未払金	82,113,402	85,896,455
前受金	42,976,088	45,735,772
預り金	3,106,046	2,663,282
仮受金 1 (各会計間資金借入金)	2,279,779	45,087,309
仮受金 2	239,085	0
合計	130,714,400	179,382,818
次期繰越収支差額	55,642,898	64,606,426

4 資金及び負債の増加額及び減少額

総括表

(単位：円)

	金 額	
1 増加の部		
(1) 資産増加額	97,062,078	
増加額合計		97,062,078
2 減少の部		
(1) 資産減少額	20,059,965	
(2) 負債増加額	9,860,284	
減少額合計		29,920,249
当期正味財産増加額		67,141,829